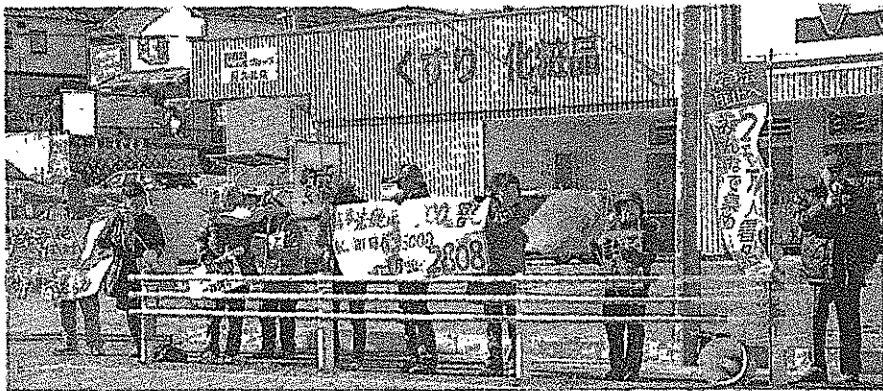


担い手は超党派

愛知・阿久比町 人口1割超が署名

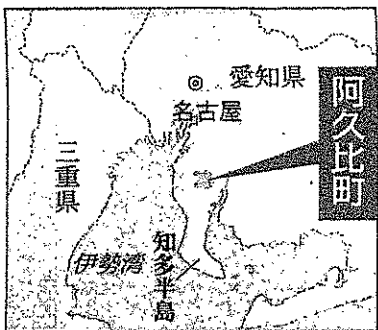


スーパー前で2000万署名を訴える人たち=1月、愛知・阿久比町

愛知県知多半島の中央に位置する阿久比町。人口2万8千人の小さな町で、住民の1割を超す3479人(3日現在)が戦争法廃止の2000万署名に応じています。署名の担い手は超党派で構成される「平和安全保障連法」の廃止を求める阿久比町民の会(阿久比町民の会)です。

(吉岡淳一)

町民の会には、元町長、元町議会正副議長、元保守系町議、JA理事経験者、の約150人が賛同人に名



広げよう 2000万署名

前を連ねています。署名目標は、全国2000万を阿久比町に換算し5000人超です。

保守系元議長も

同会共同代表の一人、井本三紀夫さん(74)は保守系の町議会議長経験者。「憲法をないがしろにする安保法が通ったいま、立場の違いを言ってる場合じゃない」と語ります。

「シールズのような運動の火を参院選まで絶やさせたくない。全国で2000万をやりきり、安保法廃止の政府をつくらないといけない。その力になれば」と井本さんは真剣です。

町民の会の呼びかけにこたえ、各個人・団体が連日、署名行動を展開しています。

1月19日、日本共産党支部や新日本婦人の会のメンバーが合同で署名を訴えたスーパー前の宣伝には15人が参加。宣伝後、2人一組で住宅街を戸別訪問。2歳の子を育児中の女性(29)は「当初は人ごとのように

感じていたけれど、戦争で今の生活が脅かされるのは困る」と、署名を快諾。妻と幼子の3人暮らしの男性(30)は「戦争には絶対反対だから」と、迷わず署名に応じてきました。呼び鈴にパジャマ姿のまま目をこすりながら出てきた青年も、戦争法廃止署名だとわかると、すぐ署名しました。

「変化を感じて」

1人で近所を軒並み訪問し数百人の署名を集める人もいますが、なかなか集められない人もいます。「だからこそ、みんなで励みあって戸別訪問し、署名を集める喜びを分かち合い、変化を感じることができると参加者は口々に語ります。

保守の立場に身を置いていた井本さんは「署名といえば共産党の人がやるもの」と思っていました。「いまもそう見ている人がいると思う。自分が前に出ることで共産党アレルギーが薄まれば」と話します。(4面につづく)

2/4
系誌